



持続可能な 部活動の在り方とは

～ 上尾市の子供たちに魅力あるスポーツ・文化芸術活動機会を確保するために ～

現在、上尾市では、スポーツ庁「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言(令和4年6月)」及び文化庁「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言(令和4年8月)」を受け、市内中学校の休日の学校部活動を地域クラブ活動に移行する最適な方策について、検討を行っています。

本リーフレットでは、部活動改革が求められる背景や地域クラブ活動に関する概要等について、何回かにわたり、御紹介いたします。

「部活動の地域移行」とは

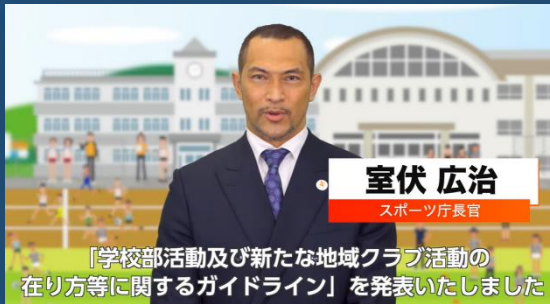
部活動の地域移行とは、部活動を学校主導から地域主導へ移行することです。

これは、少子化が進む中、将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するために、進められている国家プロジェクトです。また、これまで教員が、経験に関わらず指導してきた部活動を地域主導に移行することで、教員の負担軽減を図る目的もあります。

スポーツ庁及び文化庁は、現時点で、令和7年度までを改革推進期間とし、令和8年度以降の休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行を行うこととしています。

★是非こちらの動画をご視聴ください★

スポーツ庁「運動部活動改革～『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』の策定～(令和5年3月)」※動画による説明



室伏 広治
スポーツ庁長官

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関するガイドライン」を発表いたしました

↑画像をクリックするか、右記の二次元コードを読み取ると、動画を視聴することができます。



★スポーツ庁及び文化庁 HP もご覧ください

【スポーツ庁】

「部活動改革ポータルサイト～学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行(地域移行)に向けて～」



【文化庁】

「文化部活動改革～部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備～」



部活動改革が求められる背景 ～「なぜ『部活動の地域移行』が必要なの？」～

●少子化及びニーズの多様化



- 上尾市立中学校の生徒数は、昭和61年をピークに減少に転じ、平成12年から平成26年までは横ばい、その後、緩やかに減少し、令和4年では5,614人となっている。
- 市内全体で10.8%の児童が、「進学する予定の中学校の部活動の中で、入りたい部活動がない」と回答している。

(出典：上尾市教育委員会「将来の学校部活動に関するアンケート調査（令和5年2月）」)



●生徒のスポーツ・文化芸術活動を支える人材の確保と育成

- 「現在の学校教育における部活動について課題がある」と回答した86.2%の教員のうち、「専門的な指導ができない」ことを課題に挙げた教員が66.1%いる。

(出典：上尾市教育委員会「上尾市立中学校部活動の在り方についてのアンケート調査（令和4年7月）」)

●教員の働き方改革 等

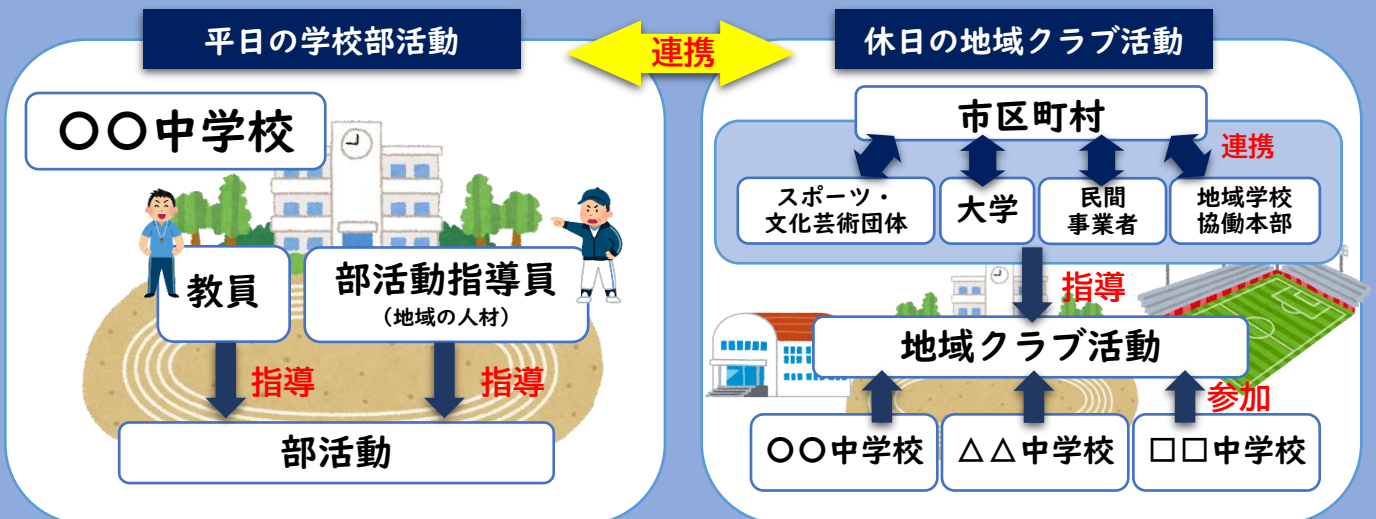
- 顧問をしている教員の約8割が部活動を負担に感じる、やや感じると回答し、その約8割以上が校務と部活動の両立が困難であることをその理由に挙げている。



(出典：上尾市教育委員会「上尾市立中学校部活動の在り方についてのアンケート調査（令和4年7月）」)

これからの部活動の新しい形 ～平日の学校部活動と休日の地域クラブ活動～

(参考：スポーツ庁・文化庁「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月）」)



地域クラブ活動では・・・

- ★顧問の教員の異動等にかかわらず、継続的に専門的な指導を受け続けることができます。
- ★通学する学校の部活動にはなかった様々なスポーツ・文化芸術活動を体験できるようになります。



上尾市教育委員会では、「部活動地域移行推進事業」について、積極的に情報発信を行っていきます

部活動改革に関する内容については、
上尾市教育委員会に直接お問い合わせください。

【問い合わせ先】上尾市教育委員会 学校教育部指導課
〒362-8501 埼玉県上尾市本町3-1-1 TEL048-775-9672